

薬剤部季刊誌

70 号

2023年 12 月発行

発行

桐生厚生総合病院 薬剤部 発行責任者 阿部 正樹 編集担当者 大垣 友香 大手 直樹



第70回目のテーマは、"大腸内視鏡検査前に用いるお薬"です。

大腸内視鏡検査は、大腸の中を観察し、"ポリープ"や"がん"などを見つけるために行う検査です。腸の中がキレイになっていないと正確な検査ができず、病気を見落とす恐れがあるため、正確で安全な検査をするためには、適切な方法で下剤を服用していただく必要があります。

●下剤(陽管洗浄剤)の種類

当院では、大腸内視鏡検査の前に飲む下剤(腸管洗浄剤)は3種類あります。

ニフレック(液剤)



- ・作り方・服用方法が簡単
- ・2リットル服用する
- ・特有の味がする

モビプレップ(液剤)



- ・薬剤の服用量が少なく 済むことがある
- ・服用方法が複雑

ビジクリア(錠剤)



- ・水以外にお茶で服用可能
- ・錠剤が大きい
- ・50錠飲む必要がある

●下剤(液剤)の作り方について

液剤の下剤は、準備が煩雑なため作り方をよく確認してください。

●ニフレック

- (1) キャップを開けて、約1リットルの目盛まで水を入れます。
- (2) キャップをしっかり閉め、よく振り、完全に溶かします。
- (3) さらに約2リットルの日盛まで水を加え、再びよく混ぜます。
- ※ 当院では、二フレックにジメチコン錠(ガス駆除剤)を入れる場合があるため、 "当院での服用方法について"の項目もあわせて、ご確認ください。

●モビプレップ

- (1) キャップを開けて、☆(星印)まで水を入れます。
- (2) キャップを閉め、平らな場所で、上から押すようにしてAとBの壁をしっかり開通させます。
- (3) よく振って、粉末を溶かします。
- (4) さらに約2リットルの目盛まで水を加え、再びよく混ぜます。
- ※ニフレック、モビプレップともに、溶かす水については硬水を避け、軟水のものを選んでください。 水道水でもかまいません。完成したものは<u>冷蔵庫での保管</u>をおすすめします。

冬の場合、気温が低いため、涼しい場所で保管することもできます。また、冷やした方が口当たりがよいと言われていますが、冷たい飲み物が苦手な方は、服用当日の朝、冷蔵庫から出して常温に戻し、服用してください。



方法① 【ニフレック+ジメチコン錠 (ガス駆除剤)、センノシド錠 (下剤)、モサプリド錠 (腸運動促進剤)】

検査前日

(1)夜になったら二フレックの準備をします。

ジメチコン錠を PTP シートから取り出し、5 錠すべてを二フレックに入れ一緒に溶かしてください。錠剤のため、すぐには溶けませんが、次の日にはふやけて溶けます。溶け残りがあったとしても、そのまま服用していただいて大丈夫です。

(2) **夜9時**にセンノシド錠(茶褐色)を2錠、モサプリド錠(白色)を3錠服用します。

検査当日

- (3) 朝7時にモサプリド錠を3錠 服用します。
- (4) 朝8時からニフレックの服用を開始します。 コップ 1 杯を 10~15 分かけてゆっくり服用します。 これを繰り返して、2 リットルすべて服用します。 コップに注ぐ際は、ニフレックをよく振ってください。



方法② 【ニフレック+ジメチコン錠(ガス駆除剤)】

検査前日は方法①の(1)のみ、検査当日は方法①の(4)のみを行います。

方法③ 【モビプレップ】

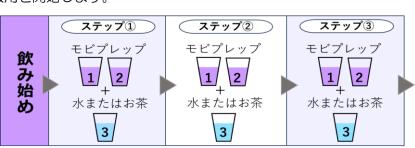
検査前日

(1) 夜になったらモビプレップの準備をします。

検査当日

(1) 朝8時からモビプレップの服用を開始します。

コップ1杯10〜15分かけて、 1、2杯目は薬を、3杯目は 水またはお茶を服用します。



ステップ③までは必ず行い、4回目以降は便の状態に応じて服用終了します。

方法④ 【ビジクリア】

検査当日

ビジクリア 5 錠を、専用のコップに 200mL の目盛りまで入れた水またはお茶で 15 分以内に飲みます。その際、コップの中の水またはお茶はすべて飲んでください。

これを 15 分ごとに繰り返して、合計 10 回(50 錠、水またはお茶を 2 リットル)飲みます。

◆ 注意すること

服用時 1 人になる場合は、緊急時対応のため携帯電話を近くに置くなど、すぐ連絡できるようにしてください。体調が悪くなってしまった場合や、どうしても服用を続けることができない場合は、無理に服用せず、お電話でご相談ください。

《参考資料》 各種製薬会社 HP、各種添付文書

次回は、"災害時におけるお薬手帳の重要性"をテーマに、2024年3月発行予定です。

